

2022年8月15日

課題名：薬剤関連顎骨壊死の外科療法に関する検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、薬剤関連顎骨壊死の外科療法の適切な手術法について調べています。本研究を通じて、治療予後を向上させることで、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2017年11月から、2022年3月までの間に、倉敷中央病院歯科で薬剤関連顎骨壊死と診断された方。

◆研究に使用される情報◆

患者さんの背景（年齢、性別、既往歴、併存疾患、使用薬剤、薬剤の内服期間）

術前診断（ステージ分類）、治療内容（術前抗菌薬）

手術内容（術式、切除方法、手術時間、出血量、使用機器、術者）

手術標本の病理組織

治療経過（治癒状況、治癒に要した期間）、術後抗菌薬、手術合併症

再発の有無、後治療

フォローアップ期間、生命予後

◆研究方法◆

本研究は過去のカルテ等から上記の情報を抽出し、集計や統計解析を行います。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

歯科 研究責任者     渡辺 禎久    

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明